

(別紙 4)

地球温暖化対策計画実施状況報告書（最終報告）の概要（公表用）

1 事業者の概要

氏名	東京製螺工業株式会社	市内の主たる住所	中央区田名塩田1-17-5
主たる事業の内容	自動車、産業用機械などのネジ付部品の製造		

2 計画期間

令和元年度～令和3年度

3 計画年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	48 t-CO ₂	計画最終年度 排出量	45 t-CO ₂
計画最終年度 排出削減量	3 t-CO ₂	計画最終年度 排出削減率	6.3 %
(原単位を設定した場合) 計画最終年度の原単位排出量削減率			%

4 計画年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

<p>エネルギーの2021年度消費は、基準年度（2018年）と比較し6.3%削減の最終結果でした。2020年度は新型コロナウイルス（COVID-19）に伴う感染対策「緊急事態宣言」により2月～8月は受注が大幅減少、平準的な生産ができず低迷し、前年度電力使用（月平均10,232 kWh）に対比し約18%減しました。2021年度は、生産の回復に伴う急な受注増に残業や休日出勤で対応した為、エネルギー使用量が増加（月平均10,266kWh）し、2019年度電力使用の水準に戻ってしまいました。</p>

5 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容【計画書記載事項】

対象年度	措置の内容	実施状況
2019	工場の照明設備を水銀灯から高性能LEDに更新した。	実施済
2020	事務所、休憩室の空調設備を省エネ型に更新した。	実施済
2021	工場のコンプレッサを省エネ型設備に更新した。	実施済
2021	配管系統を見直しエアリークの削減を図りコンプレッサの負荷の削減をした。	実施済

6 計画内容の進捗状況に関する説明

<p>当初計画していた取組はすべて実施することが出来ました。2021年11月に更新した省エネ型コンプレッサと、老朽化した配管系統の見直しでのエアリークの削減の為に補修工事による省エネ効果は、2020年比でも8%（月平均837Kw）基準年度比では17%（月平均1772Kw）と大きく、今後継続的な省エネ効果が期待できると考えています。</p>

7 その他、計画期間に実施した地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

<p>温室効果ガス排出抑制を図るため、省エネ診断、地球温暖化対策計画書の提出等環境基本方針を定め、全社員で組織的に省エネ活動を推進している。デマンドシステム等による電力削減活動、高効率空調、省エネ型コンプレッサへの更新、配管の補修でのロスの削減やLED化に努めるなど、省エネ及び温室効果ガスの削減に積極的に取り組んできた。また、ヒートアイランド対策として手作りで屋根に自動散水装置、自前で遮熱塗装、窓に遮光フィルム、緑のカーテンなど環境に配慮した取り組みも合わせて進めている。それらの内容が評価され令和二年度に【かながわ地球環境賞】を受賞した。</p>
